

# 航友会だより

目次	
代議員会開催	1
昭和61年度事業報告	1
昭和61年度会計決算報告	2
昭和62年度事業計画案	2
同窓会開催	2~3
留学研究コースを新設	3
へり整備士養成施設の認可	4
中日新聞社 教材用にH500を贈呈	4
不明者調査	4

発行 中日本航空専門学校航友会事務局 〒501-32 岐阜県関市迫間1577 中日本航空専門学校内 ☎0575)24-2521

## 代議員会開催



昭和六十二年年度代議員会が昭和六十二年十一月八日(日)、名古屋市中村区のホテル「キャッスルプラザ」において行われました。

出席者は、会長上村信雄氏以下、副会長、事務局長、幹事、代議員の十七名であり、会長あいさつに続

き、左記の議題について討議が行われました。

- (1) 昭和六十一年度事業報告
- (2) 昭和六十一年度会計決算報告
- (3) 昭和六十二年度事業計画案
- (4) 昭和六十二年度会計予算案
- (5) その他

### 昭和61年度事業報告

#### 1、航友会組織の強化拡充

- (1) 総会の開催  
昭和六十一年六月二十二日、中日本航空専門学校にて、会長以下六十一名の参加により実施。
- (2) 沖繩支部の設立  
右記総会にて、中日本航空専門学校航友会沖繩支部として承認される。
- (3) 支部設立の推進  
沖繩支部以外の支部については、次年度持ち越しとする。また、沖繩支部活性化のため支部内会合をする。
- (4) 代議員会の開催  
昭和六十一年十月二十六日(日)、愛知県名古屋栄、「神野学園インフォーマーセンター」にて、会長以下二十一名により実施。
- (5) 役員会の開催  
昭和六十二年七月十八日(日)、愛知県犬山市「東屋」にて、副会長二名以下十一名により実施。

#### 3、会員名簿の整理

- (1) 六十年卒業生の調査  
ハガキおよび、電話による調査の結果、約一割が不明。
- (2) 六十一年卒業生の調査  
現在調査継続中。
- (3) 六十年までの全不明者の追跡調査  
本年度発行の会報に不明者リストを掲載し、情報を募った。この結果十一名の者が判明した。全卒業生二、三四一名中、不明者は約三四十名(二五%)である。

#### 4、会員名簿の発行

- (1) 本年二月、最新版の名簿を一、〇〇〇部発行した。六十年卒業生に無料で配布。(約二二〇部)全卒業生に対し、名簿販売の案内を出し、二二二部を売却。

#### 2、会報の発行

- (1) 昭和六十一年十二月二十三日付で配付対象を、全卒業生(非会員の卒業生を含む)とし、「航友会だより第三号」



# 昭和61年度会計決算報告

## ▶収入の部

項目	金額	摘要
前年度繰越金	¥ 7,995,229	
会費	¥ 1,865,000	S 61年度入学生 373名
会費	¥ 2,190,000	S 62年度入学生 438名
会費	¥ 20,000	新入会者 4名
会費	¥ 114,000	総会懇親会 57名
寸志	¥ 50,000	教育後援会より
名簿売上	¥ 191,400	
利息	¥ 537,247	定期解約と定期利息
合計	¥ 12,962,876	

## ▶支出の部

項目	金額	摘要
總會費	¥ 614,855	S 61. 6. 22実施
会報発行費	¥ 360,000	S 61. 12. 23会報第3号発行
会議費	¥ 469,690	S 61. 10. 26実施 代議員会(1回)
支部設立援助費	¥ 81,170	沖繩支部援助
同窓生名簿発行費	¥ 771,690	再版 400部 新版 1,000部
会員名簿管理費	¥ 140,000	電算処理
事業運営費	¥ 158,870	
通信費	¥ 141,460	
雑費	¥ 8,169	
次年度繰越金	¥ 10,216,972	
合計	¥ 12,962,876	

昭和62年8月10日 会計監査—今泉善孝・佐藤伸幸

# 昭和62年度事業計画案

## 1 航友会組織の強化拡充

- (1) 代議員会および、同窓会の開催
- (2) 沖繩支部の活性化
- (3) 支部設立の推進
- (4) 役員会の推進

## 2 会報の発行

- (1) 「航友会だより」は定期的に発行し、記事内容の充実をはかる。

## 3 会員名簿の整理

- (1) 昭和六十一年度卒業生の調査

## 4 会員名簿の発行

- (1) 追加の分—六十一年度卒業生
- (2) 改訂の分—移動者

## 5 在学生、入学生に対してのPR活動

- 6 昭和六十二年卒業生への記念品

## 6 昭和六十二年卒業生への記念品

以上の事業計画に従い、航友会活動は進められています。特

に昭和六十二年事業計画の在校生および、新入生に対してのPR活動は、本会報を配布することによって、航友会の目的および、明確化をねらったものです。

また、昭和六十二年卒業生への記念品は、会員名簿のほかに、航友会名入りの名刺入れを進呈しました。卒業生のみならず、愛用していますか。

今後も航友会の活性化を目指すため、会の運営、事業について会員のみならずからのご意見、ご希望、提案など航友会事務局(☎〇五七五—二四—二五—二一)までお寄せください。

# 同窓会開催

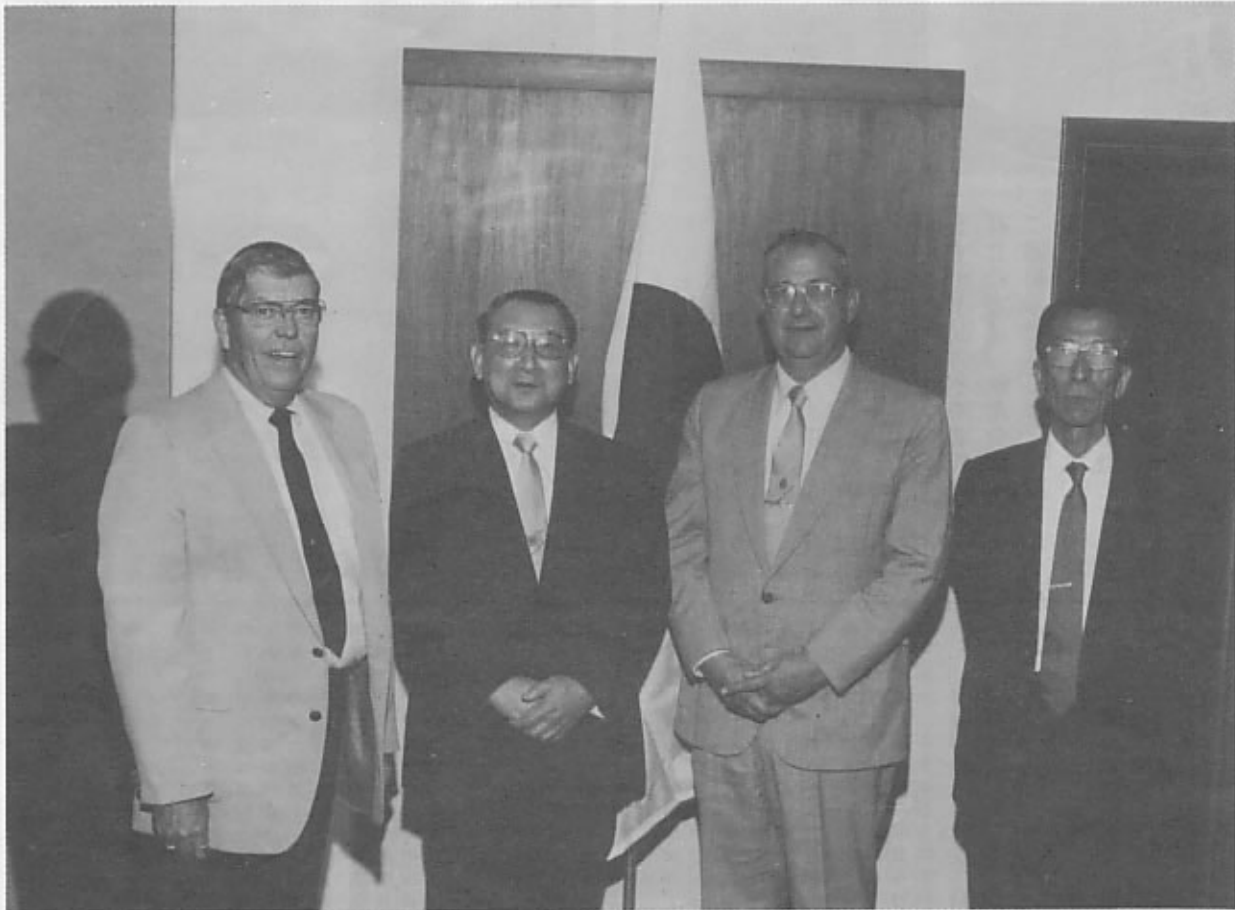
代議員会終了後、引き続き会場を移して、同窓会が催されました。  
まず、上村同窓会会長によるあいさつ。続いて萩尾学生部長の乾杯の音頭とともに、グラスを片手にみなそれぞれの旧交を深めました。  
(三面につづく)





(二面のつづき)  
 会のなかばでは、各期生毎の自己紹介もあり、隣席された奥田、和田両先生も教え子が立派に成長した姿を感慨深げにご覧になっておられました。  
 また、奥田先生からはお祝辞をいただきました。先生のかくしゃくとしたお姿を拝見して、江南時代を懐かしく思い出した会員もいたことでしょう。  
 約二時間半にわたった、同窓会も終了に近づき、本校の発展と同窓生の再会を誓い、和田先生の万才三唱をもって、閉会となりました。  
 今年も、同窓会への多数の参加をお待ちしています。

## 留学研究コースを新設



アメリカ・スパルタン・エアロカレッジと姉妹校提携の調印を終え喜びの首脳陣 写真左よりロバート・E・ドードル理事長、鈴木校長、ウィリアム・A・オース校長、篠原留学研究コース主任教授



留学研究コース第一期生(現、新明和グランドサービス勤務)松原直樹君

本校では、故人となられた、前理事長松下正寿氏(元立教大学総長)の「国際化社会に立ち向かうためには、とくに日米親善交流を進めなければならない」という教訓を生かし、昭和六十二年九月、米国F A A駐日代表の推せん校でもある、スパルタン・エアロカレッジと姉妹校提携を結び親交を深めています。  
 本校卒業後、希望に応じ「留学研究コース」へ進級し、本校にて留学に必要とする英会話、技術英語等を学んだ後、スパルタン・エアロカレッジへ留学します。  
 その第一期生は、昨年優秀な成績で同校を卒業し、アメリカ航空局自家用操縦士免許を取得して帰国しました。  
 また、第三期生として四名が決まっており、今秋渡米予定です。



